

## 都市社会共生学科

“The Soul selects her own Society.”

(エミリー・ディキンソン)

「探究者の社会では、人間は考えている。

探究者としての人間 (…)は無数の問題が出来る可能性の海に投げられるのだ」

(マイケル・ポラニー『暗黙知の次元』)

幾多の異質な存在が、無数の場面で遭遇し、混在し、衝突し、闘争し、変容し、共生しようとしているこの世界は、ひとつの組織や国家、さらには人種・人類という単位を超えて惑星の表面に広がっています。都市社会は人類の視座から構築された、この世界の魅力的な縮図であると同時に、国家・技術・科学・文化などによって、世界を縮減・動員・制御・支配しようとする（絶えず破局や失敗と隣り合わせの）人間的・社会的・文化的な権力・統治空間でもあります。人類の活動が惑星の環境・生態系に大規模で不可逆な影響を及ぼす近現代の「人新世」では、特にこうした都市社会が肥大化している…ならば、都市社会それ自体が人類を含む惑星の現在・未来にとって、非常に重要な問題（すなわち思考・検証・創造し直すべき大事な課題）だと言えるでしょう。

現代の都市社会には、政治・経済的環境の相違や価値観・文化的背景の相違などから生じる問題も多々あります。しかし、そこでは多様性それ自体が問題なのではありません。経済格差や民族差別や性差別など支配的・一元的な価値体系によって生じた、(固定化される)相違・階層関係が問題ではないでしょうか。多様性それ自体は世界の条件なのですから。肥大化する都市社会を口実に、世界の多様性を一元的に縮減・動員・制御・支配しようとする人間的・社会的・文化的な視座や権力・統治の原理を、わたしたちは歴史的・哲学的に、そして芸術や社会開発などの実践活動を通して、問い直す必要があります。そして世界の縮図としての都市社会から世界の多様性をもっと創造し、その多様性をさらに遭遇・変容・共生させる、すなわち世界の潜在力を増殖させることに向かわなければならない。この思索的かつ実践的なプロジェクトの過程と目標を、わたしたちは都市社会共生 (Urban and Social Collaboration: USC) と名づけます。

都市社会共生を掲げるこの学科は、人間を支配・統治・制御の対象（労働力・消費者・兵力・国民・人口…）に閉じこめたうえで、国家・組織の道具（「〇〇人材」…）に人間を整形するような、国家・組織従属の学科ではありえません。「単位取得」や「就職活動」だけのために、あるいは「世間の空気」や「近隣の人々の（暗黙の）希望」のために、自分自身の感覚・感情・知性を硬直させたり、知的関心と経験の幅を狭めたりしないでください。知るべきこと、不思議なこと、驚くべきこと、不可解なこと、この世界で経験したいことは、本当にたくさんあります。ここでしか遭遇しない沢山の分野に、果敢に踏みこんでください。そのときみなさんは、都市社会共生をめぐる幅広く、奥深い知を探求していくための地図、そして「より可能性のある世界に開かれた都市社会」を思考・表現・展開していくための通路を、この学科の到るところで発見していくことでしょう。

# I. 授業科目履修に関する事項

## 1. 履修基準（卒業要件）

都市社会共生学科を卒業するためには、次の諸条件を満たさなくてはなりません。

- (1) 下記の履修基準表に示す授業科目区分ごとに定められた単位数以上を修得し、合計で 124 単位以上を修得すること。
- (2) 卒業に必要な単位数の GPA が 2.0 以上であること。
- (3) 卒業研究の成果を提出し、審査に合格すること。

**履修基準表（都市社会共生学科で修得すべき単位数一覧）**

授業科目区分		修得すべき単位数		
全学教育科目	基礎科目	人文社会系科目	4 以上(※2)	
		自然科学系科目	4 以上(※2)	
	グローバル教育科目		選択(※2)	
	イノベーション教育科目		選択(※2)	
	健康スポーツ科目		0~2(※3)	
	外国語科目	英語科目	6 以上	12 以上
初修外国語科目		4 以上		
学部教育科目 (※1)	学部共通科目 (基幹知科目)	都市科学の基礎	3	
		グローバル・ローカル関連	(2 科目以上)	
		リスク共生関連	(2 科目以上)	
		イノベーション関連	(2 科目以上)	
		ソーシャルプラクティス関連	(0以上)	
	人文社会科学基礎演習		1	94 以上
	専門基礎科目		5	
	スタジオ科目		24	
	卒業研究関連科目		8	
	コモンズ科目		24	
演習科目（ローカル／グローバル科目）		14 以上	18 以上	
関連科目・学外実習科目・その他の科目		0~4		
			124 以上	

高度全学教育  
指定科目から  
4 以上(※2)

- ※ 1 学部教育科目のうち 2 単位以上は、各年度に学科の指定する英語関連科目を修得すること。
- ※ 2 高度全学教育指定科目として 3 年次以降に本学科が指定した基礎科目、グローバル教育科目及びイノベーション教育科目の中から 4 単位以上を履修すること。
- ※ 3 2 単位まで卒業に必要な単位として参入できる。
- ※ 4 外国人留学生においては、日本語科目を外国語科目に代替できる。

## 2. 卒業研究について

### (1) 卒業研究着手要件

卒業研究に着手するには、3 年以上在学し、全学教育科目および学部教育科目を合わせて 100 単位以上修得している必要があります。また、スタジオ科目 18 単位以上を修得していなければなりません。この要件を満たしていない場合は、卒業研究に着手できませんので、卒業が延期になります。

### (2) 卒業研究の履修登録

卒業研究に着手する学生は、他の授業科目と同様に、前述の履修登録方法に従って履修登録を行わなければなりません。

授業科目「卒業研究」は 4 年次を対象に春学期と秋学期に開講されています。卒業研究に着手した学生は、「卒業研究題目届」を提出する学期、及び卒業研究の成果を提出する学期に履修登録を行い、合計 4 単位を修得する必要があります。

### (3) 「卒業研究題目届」の提出

卒業研究に着手した学生は、指導教員の指導に従い卒業研究題目を決定し、学科が定めた期日（下表を参照）までに「卒業研究題目届」を授業支援システムの『【連絡専用】都市社会共生学科』上に提出しなければなりません。届出がない場合は、卒業研究の単位が認められません。

卒業研究の成果を提出するにあたって、**提出期限は期日（下表を参照）の16時10分**とし、期日を過ぎたものは一切受理しません。詳細は掲示で確認してください。

	「卒業研究題目届」の提出期限	卒業研究の成果の提出期限
3月卒業の場合	同年度の6月末日※※	同年度の1月末日※※
9月卒業の場合	前年度の12月下旬※	同年度の7月末日※※

※冬季休業の開始の前日を期日とする。

※※土曜日または日曜日の場合は直前の金曜日とする。

### 3. 履修登録単位数の上限

履修できる単位数は、**半期ごとに24単位まで**と上限が設定されているので、この枠内で行ってください。ただし、以下の科目群はこの上限設定から除外されます。

1. 開講期間が集中・不定期・第3ターム・第6タームの科目  
(ただし、全学教育科目は第3ターム又は第6タームに開講する科目に限り上限除外とする。)
2. スタジオ科目
3. 卒業研究関連科目

## II. 学部教育科目の履修について

### 1. 人文社会科学基礎演習および学部共通科目

「人文社会科学基礎演習」は必修科目です。また、他の学科と共通で提供する「学部共通科目」については9ページを参照してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
基礎演習科目	人文社会科学基礎演習	1	1			
学部共通科目	9 ページを参照					

### 2. 専門基礎科目

都市社会共生学科で提供する「専門基礎科目」については全科目5単位を必修で履修してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
専門基礎科目	海外研究基礎論	1	1			
	社会文化批評基礎論	1	1			
	社会分析基礎論	1	2			社会調査士対応【A】
	芸術文化基礎論	1	1			

### 3. スタジオ科目

「スタジオ科目」については、24単位を履修してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
スタジオ科目	海外研究スタジオ A I	2		3		
	海外研究スタジオ A II	2		3		
	海外研究スタジオ A III	3		3		
	海外研究スタジオ A IV	3		3		
	海外研究スタジオ B I	2		3		
	海外研究スタジオ B II	2		3		
	海外研究スタジオ B III	3		3		
	海外研究スタジオ B IV	3		3		
	社会文化批評スタジオ A I	2		3		
	社会文化批評スタジオ A II	2		3		
	社会文化批評スタジオ A III	3		3		
	社会文化批評スタジオ A IV	3		3		
	社会文化批評スタジオ B I	2		3		
	社会文化批評スタジオ B II	2		3		
	社会文化批評スタジオ B III	3		3		
	社会文化批評スタジオ B IV	3		3		

※なお、配当年次は今後変更も想定されるため、年度ごとに配布される時間割表を必ず確認すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
スタジオ科目	社会分析スタジオ A I	2		3		社会調査士対応【C】
	社会分析スタジオ A II	2		3		社会調査士対応【F】
	社会分析スタジオ A III	3		3		社会調査士対応【G】
	社会分析スタジオ A IV	3		3		社会調査士対応【G】
	社会分析スタジオ B I	2		3		社会調査士対応【C】
	社会分析スタジオ B II	2		3		社会調査士対応【E】
	社会分析スタジオ B III	3		3		社会調査士対応【G】
	社会分析スタジオ B IV	3		3		社会調査士対応【G】
	芸術文化スタジオ A I	2		3		
	芸術文化スタジオ A II	2		3		
	芸術文化スタジオ A III	3		3		
	芸術文化スタジオ A IV	3		3		
	芸術文化スタジオ B I	2		3		
	芸術文化スタジオ B II	2		3		
	芸術文化スタジオ B III	3		3		
	芸術文化スタジオ B IV	3		3		

※なお、配当年次は今後変更も想定されるため、年度ごとに配布される時間割表を必ず確認すること。

#### 4. 卒業研究関連科目

「卒業研究関連科目」については全科目 8 単位を履修してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
卒業研究 関連科目	課題演習 A	4	2			
	課題演習 B	4	2			
	卒業研究 A	4	2			
	卒業研究 B	4	2			

#### 5. コモンズ科目

コモンズ科目から 24 単位以上、履修してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
コモンズ 科目	コミュニティデザイン講義	1・2		2		
	都市社会学講義	1・2		2		
	都市共生論講義 I	1・2		2		
	都市共生論講義 II	1・2		2		
	都市哲学講義	1・2		2		
	都市文化マネジメント講義	1・2		2		
	文化人類学講義	1・2		2		
	地域社会論講義	2・3		2		
	映像社会論講義	2・3		2		
国際社会学講義	2・3		2			

\*配当年次は変更される可能性もあるため、年度ごとに配布する時間割表を必ず確認すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
コモンズ科目	東アジア都市社会論講義	2・3		2		
	都市政策論講義	2・3		2		
	ジェンダー社会論講義	2・3		2		
	音響文化論講義	2・3		2		
	開発人類学講義	2・3		2		
	空間文化論講義	2・3		2		
	現代芸術論講義	2・3		2		
	現代都市文化論講義	2・3		2		
	現代ポピュラー文化論講義	2・3		2		
	現代メディア論講義	2・3		2		
	国際政治学講義	2・3		2		
	国際政治経済論講義	2・3		2		
	都市文芸文化論講義	2・3		2		
	東アジア近現代史講義	2・3		2		

\*配当年次は変更される可能性もあるため、年度ごとに配布する時間割表を必ず確認すること。

## 6. 演習科目（ローカル／グローバル科目）、関連科目、学外実習科目

下記の科目の中から18単位以上を履修してください。その際、(1) 演習科目（ローカル／グローバル科目）群からは14単位以上を履修してください。

- (1) 演習科目（ローカル／グローバル科目）
- (2) 他学科・他学部が開講する「関連科目」
- (3) 学外実習科目
- (4) 24単位を超えて履修したコモンズ科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
演習科目 (ローカル／グローバル科目)	映像社会論演習Ⅰ	2・3		1		
	映像社会論演習Ⅱ	2・3		1		
	エスニシティと共生	2・3		1		
	音響文化論演習Ⅰ	2・3		1		
	音響文化論演習Ⅱ	2・3		1		
	開発人類学演習	2・3		1		
	空間文化論演習Ⅰ	2・3		1		
	空間文化論演習Ⅱ	2・3		1		
	現代芸術論演習Ⅰ	2・3		1		
	現代芸術論演習Ⅱ	2・3		1		

\*配当年次は変更される可能性もあるため、年度ごとに配布する時間割表を必ず確認すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
演習科目 (ローカル／グローバル科目)	現代都市文化論演習Ⅰ	2・3		1		
	現代都市文化論演習Ⅱ	2・3		1		
	現代ポピュラー文化論演習	2・3		1		
	現代メディア論演習	2・3		1		
	国際社会学演習Ⅰ	2・3		1		
	国際社会学演習Ⅱ	2・3		1		
	コミュニティデザイン演習Ⅰ	2・3		1		
	コミュニティデザイン演習Ⅱ	2・3		1		
	ジェンダー社会論演習Ⅰ	2・3		1		
	ジェンダー社会論演習Ⅱ	2・3		1		
	政治学演習Ⅰ	2・3・4		1		
	政治学演習Ⅱ	2・3・4		1		
	都市社会学演習Ⅰ	2・3		1		
	都市社会学演習Ⅱ	2・3		1		
	都市人類学演習	2・3		1		
	都市哲学演習Ⅰ	2・3		1		
	都市哲学演習Ⅱ	2・3		1		
	都市文芸文化論演習Ⅰ	2・3		1		
	都市文芸文化論演習Ⅱ	2・3		1		
	東アジア都市社会論演習Ⅰ	2・3		1		
	東アジア都市社会論演習Ⅱ	2・3		1		
	メディアと共生	2・3		1		
	ヨーロッパ都市文化史演習Ⅰ	2・3		1		
	ヨーロッパ都市文化史演習Ⅱ	2・3		1		
	コミュニティ論演習Ⅰ	2・3		1		
	コミュニティ論演習Ⅱ	2・3		1		
都市政策論演習Ⅰ	2・3		1			
都市政策論演習Ⅱ	2・3		1			
学外実習科目	学外実習 A	2・3・4			2	
	学外実習 B	2・3・4			2	
関連科目	社会環境リスク共生概論A(都市環境)	2・3			1	
	リスク共生社会基礎論	2・3			1	
	西洋建築史Ⅰ	2・3			1	
	西洋建築史Ⅱ	2・3			1	
	都市計画とまちづくりⅠ	3			1	
	都市計画とまちづくりⅡ	3			1	
	都市交通計画	3			1	

\*配当年次は変更される可能性もあるため、年度ごとに配布する時間割表を必ず確認すること。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
			必修	選択必修	選択	
関連科目	途上国における都市づくりⅠ	3			1	
	途上国における都市づくりⅡ	3			1	
	都市環境設備計画Ⅰ	3			1	
	都市環境設備計画Ⅱ	3			1	
	都市環境リスク共生論 B	2			1	
	土木史と文明Ⅰ	2・3			1	
	土木史と文明Ⅱ	2・3			1	
	日本建築史Ⅰ	2・3			1	
	日本建築史Ⅱ	2・3			1	
	人間生活と建築計画Ⅰ	2・3			1	
	人間生活と建築計画Ⅱ	2・3			1	
	合意形成とリスクⅠ	3			1	2025年度以降の開講は未定
	高齢社会とリスク B	2			1	
	ランドスケープ論	2・3			2	
	グローバル・エコノミー入門	2・3			2	
	国際法	2・3			2	
	マクロ経済学入門	2・3			2	
	ミクロ経済学入門	2・3			2	
	法学入門	2・3			2	
	現代社会福祉	3			2	
	経営戦略論	3			2	
	国際経営論Ⅰ	3			2	
国際経営論Ⅱ	3			2		
雇用社会論	2・3			2		
産業社会論	2・3			2		
Cinema and Politics in Japanese Contexts	2・3			2		

\*配当年次は変更される可能性もあるため、年度ごとに配布する時間割表を必ず確認すること。



### Ⅲ. 社会調査士の資格取得について

#### 1. 社会調査士資格について

社会調査資格は、一般社団法人社会調査協会が認定する公的資格です。社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会現象等をとらえることのできる能力を有する「調査の専門家」を養成することを目的として作られました。

社会調査資格には、「社会調査士」（4年制大学学部生対象）と「専門社会調査士」（大学院生対象）の2種類があります。都市社会共生学科では、このうち「社会調査士」の資格を取得することができます。

#### 2. 社会調査士の資格取得カリキュラムについて

社会調査資格は、資格試験を受験して取得する国家資格ではありません。社会調査士カリキュラム A～G（E/Fは選択制）に対応した科目を履修し、単位を修得した学生が、社会調査協会に申請することで認められる資格です。関連する科目は、以下の通りです。

授業科目区分	授業科目	履修年次	単位数		社会調査士カリキュラム対応記号	備考
			必修	選択		
専門基礎科目	社会分析基礎論	1	2		A	
学部共通科目	社会調査法 A	2		1	B	(注 1)
	社会調査法 B	2		1		
全学教育科目(基礎科目)	社会分析のための統計基礎	1～4		2	D	
スタジオ科目	社会分析スタジオ A I	2		3	C	(注 2)
	社会分析スタジオ B I	2		3		
	社会分析スタジオ A II	2		3	F	(注 3)
	社会分析スタジオ B II	2		3	E	
	社会分析スタジオ A III	3		3	G	(注 4)
	社会分析スタジオ B III	3		3		
	社会分析スタジオ A IV	3		3		
社会分析スタジオ B IV	3		3			

(注 1) 「社会調査法 A」と「社会調査法 B」は、必ず両方履修してください。社会調査士カリキュラムの対応科目としては、2024年度までの開講となります。2025年度以降は、決まり次第周知します。

(注 2) 「社会分析スタジオ A I」と「社会分析スタジオ B I」は、どちらか一方を履修することで要件を満たします。なお、「社会分析スタジオ A」は質的研究を、「社会分析スタジオ B」は量的研究を対象としています。

(注 3) カリキュラム対応記号 E と F は選択制になっていますので、どちらか一方を履修することで要件を満たします。

(注 4) 「社会分析スタジオ(A/B) III」と「社会分析スタジオ(A/B) IV」は、必ず両方履修してください。

#### 3. 社会調査士取得要件・申請方法

大学卒業時に取得可能な「社会調査士」資格と、在学中に申請可能な「社会調査士（キャンディデイト）」があります。それぞれの取得条件は以下の通りです。申請方法については、取得希望者向けのガイダンス等（2年次以降）にて説明する予定です。なお、資格の取得に際しては、審査・認定手数料がかかります。本学科は、手数料減額対象の機関ではありません。

##### 社会調査士

1. 学部を卒業
2. 社会調査士カリキュラム A～G（E/Fは選択制）に対応した科目を在学中に修得すること。

社会調査士（キャンディデイト）

1. 在籍期間が 1 年以上であること（2 年次から申請可能）
2. 申請時まで、社会調査士カリキュラム A～G（E/F は選択制）に対応した科目を 3 科目以上単位修得していること
3. 2 の単位修得済み科目と申請する年度履修中の科目の合計が 5 科目以上であること（ただし「社会調査法 A」及び「社会調査法 B」は両方合わせて履修のため、その場合は 6 科目以上と数える。E/F は選択制のため 1 科目と数える。）

#### 4. 備考

社会調査士に関する詳細は、社会調査協会のウェブサイトで確認することができます。

一般社団法人社会調査協会 ウェブサイト URL : <https://jasr.or.jp/>

学部教育科目 94 単位以上

全学教育科目 30 単位以上

1

学部共通  
14 単位以上

都市科学の基礎  
(都市科学 A・B・C)  
3 単位

グローバル・  
ローカル関連  
2 科目以上

リスク共生関連  
2 科目以上

イノベーション  
関連  
2 科目以上

ソーシャル  
プラクティス  
関連  
0 単位以上

人文社会科学  
基礎演習 1 単位

専門基礎  
5 単位

海外研究基礎論  
社会文化批評基礎論  
社会分析基礎論  
芸術文化基礎論

コモンズ  
24 単位

コミュニティデザイン講義  
都市社会学講義  
都市共生論講義 I・II  
都市哲学講義  
都市文化マネジメント講義  
文化人類学講義  
映像社会論講義  
国際社会学講義  
東アジア都市社会論講義  
都市政策論講義  
ジェンダー社会論講義  
音響文化論講義  
開発人類学講義  
空間文化論講義  
現代芸術論講義  
現代都市文化論講義  
現代ポピュラー文化論講義  
現代メディア論講義  
国際政治学講義  
国際政治経済論講義  
都市文芸文化論講義東  
アジア近現代史講義

※学部教育科目のうち  
2 単位以上は英語関連科目を履修

外国語  
12 単位以上

英語  
6 単位以上  
初修外国語  
4 単位以上

基礎科目

人文社会系  
※4 単位以上  
自然科学系  
※4 単位以上

グローバル教育  
※選択

イノベーション教育  
※選択

健康スポーツ  
0~2 単位

2

スタジオ

24 単位 (各 3 単位)

※2 つのスタジオを履修

海外研究スタジオ A/B I~IV  
社会文化批評スタジオ A/B I~IV  
社会分析スタジオ A/B I~IV  
芸術文化スタジオ A/B I~IV

演習 14 単位以上

ローカル/グローバル  
(各 1 単位)

映像社会論演習 I・II  
Eスニシティと共生  
音響文化論演習 I・II  
開発人類学演習  
空間文化論演習 I・II  
現代芸術論演習 I・II  
現代都市文化論演習 I・II  
現代ポピュラー文化論演習  
現代メディア論演習  
国際社会学演習 I・II  
コミュニティデザイン演習 I・II  
ジェンダー社会論演習 I・II  
政治学演習 I・II  
都市社会学演習 I・II  
都市人類学演習  
都市哲学演習 I・II  
都市文芸文化論演習 I・II  
東アジア都市社会論演習 I・II  
メディアと共生  
ヨーロッパ都市文化史演習 I・II  
コミュニティ論演習 I・II  
都市政策論演習 I・II

18 単位以上

学外実習

関連科目・その他

※高度全学教育指定科目として 3 年次以降に 4 単位以上

3

4

卒業研究関連 8 単位 (各 2 単位)

課題演習 A・B  
卒業研究 A・B